

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2017年10月30日発行 No.52

『イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい。」律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』 (新約聖書 マタイによる福音書 22:37~40)

<神戸昇天教会の皆様がチャペルを訪問!! 連綿と紡がれる地区教会とのつながり!!>

先週月曜日の朝、KIU チャペルはたくさんのお客様をお迎えしました!! 同じ聖公会神戸教区に属する神戸昇天教会の方々がKIUを訪問され、共に歌い、共に祈り、食事も含めて交わりの時を持つ事ができました!! 一時は、週末の神戸を襲った台風の影響で開催を見送られそうにもなりましたが、昇天教会牧師の小南先生の熱い祈りに支えられ、当日は台風一過、快晴の下での開催となりました。感謝です!! 近隣の神戸伝道区には7つの教会・伝道所がありますが、同じ地区の宣教を担うものとして、これからも様々な形で協力・交流を図っていききたいですね!! ありがとうございました!!



「台風一過、来れて良かった!!」



パイプオルガンに合わせて歌練習



次のご来館をお待ちしています!!

<ピアニスト弓張美季さんをお招きしてのコンサート!! チャペルを包み込む芸術的旋律!!>

先週の大きな動きとして特筆すべきは、やはり「弓張美季ピアノコンサート」でしょう!! 現在はドイツ：ベルリンに在住で世界を舞台にご活躍されている神戸出身のピアニスト、弓張美季さんをお迎えしてのコンサートは今年で3回目となりますが、素晴らしい演奏を間近で体験できる貴重な機会としてすでに近隣やファンの方々の間で話題となっています。当日は生憎の雨模様でしたが、開場と共にチャペルは満席!! 演奏は約2時間があっという間に感じられるほど、本当に素晴らしい内容でした!! お越しいただいた皆様、大きなピアノを運び込んで調律等を担当して下さった関係者の皆様、そして何より忙しいスケジュールを縫って演奏して下さいました弓張さんに心から感謝いたします!!



STEINWAY 社 1925 年製のピアノ



生憎の雨でもチャペルは満員御礼!!



演奏後の記念撮影!! 貴重な一枚!

<先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています。

10月23日(月) テーマ:「台風はどこから来るの?」

野間 光顕(チャプレン)

先週末、台風21号が神戸を直撃した。その被害は凄まじく、出勤の途中に大量の葉っぱや折れた木々の枝等台風の爪痕をいくつも確認した。私はこのような強い風を見る時に、前任校で一緒に勤務する生物の教師に「風は何故吹くのか?」と質問した事を思い出す。彼女はニヤリと笑って答えた。「地球が回っているからだよ。」その教師はクリスチャンではなかったが、自然科学に精通する彼女の答えに、私は聖書の創造物語を強く想起した。自然の力は、時に人間の思惑を大きく超えて私たちの命を脅かすが、今朝の空のように眩い光と恵みをもたらしてくれる。農作物の実りも含めて、命の豊かさを覚える機会が多くある10月。与えられた命とつながりを大切にしながら共に歩みたい。

10月24日(火)

この日は音楽礼拝で、後期初めての聖歌隊による奉唱を行いました!!

現在、聖歌隊ではクリスマス礼拝に向けて協力してくれる人を大募集中です!! 歌が好きな人、今年のクリスマスに何か新しいことを始めてみたいと考えている人、初心者でも構いません!! 関心のある方はキリスト教センターまでご一報下さい!!



皆さんの参加をお待ちしています!!

10月25日(水) テーマ:「深呼吸のススメ」

友枝 美樹(リハビリテーション学部)

疲労大国と言われる日本では、過労死(英語の辞書にも「Karoshi」と掲載されている)が話題に上る事が多い。人はストレスや緊張を感じると、無意識の内に呼吸の回数が減少する。また「インナーマッスル」と呼ばれる深層筋(体の内部にある筋肉)が衰えてくると、内臓が下垂し、胃や消化器の力が低下してしまう。そこで最近では、インナーマッスルを鍛える効果のある深呼吸「ドローイン」が注目されている。姿勢を伸ばして意識的にゆっくり腹式呼吸を繰り返すことで内臓の下垂を防ぎ、下腹部の肥満防止にも役立つ。生活の節目で深呼吸を行い、健康で穏やかな歩みを心掛けたい。

10月26日(木) テーマ:「感性と読書のメカニズム」

桑田 政美(経済学部)

「氷が解けたら何になる?」と問われれば、「水」と答える人が多いだろうが、「春になる」という感性豊かな答えもある。最近では、スマホなどIT端末の発達から情報を処理する力が飛躍的に向上したと言われる一方で、物事を深く考え、読み込む力が低下している人が増えたとも言われる。特に読書の量が激減している(大学生で一冊も本を読まない人が47.5%も!!)。読書中の脳の働きは、TVやPCの画像を見ている時と大きく違う。先述の答えのように、柔らかい頭で豊かな発想のできる人間になるためにも、ぜひ一冊でも多く本に触れる、また図書館を利用する機会を大切にしたい。

10月27日(金) テーマ:「この夏の学び」

パウデル・アニル(経済学部2年)

今年の8月4日~6日の3日間、「ヒロシマ平和旅考2017」に参加し、平和記念公園や資料館を訪れた。原爆は、日本人だけでなく、私のような留学生も含めて世界中の人が知っておくべき恐ろしい事実だ。今回参加した留学生は、それぞれの宗教や信仰、また文化の違いを持っている。このような違いは時に対立や戦争を生んでしまう事があるが、私たちはこの平和旅考の期間中、穏やかな心と笑顔で、国や民族の隔てなく過ごす事ができた。このプログラムに参加する学生が増える事、また神戸国際大学の、平和への取り組み、学びがこれからも広がる事を願っている。(文責:野間 光顕)